

いのち
守って
全
力

日本共産党の議席が 県議会に必要です

コロナ対策で19回申し入れ 病床確保・無料検査等実現

日本共産党福岡県議団はコロナ対策で19回の申し入れを行い、県民や中小業者、医療機関の声を届けてきました。

県は当初、病床確保数を760床としたものの、目標を大きく下回っており、党県議団の増床要求にも応じませんでした。2021年の県知事選はコロナ対策が大争点となり、現在の知事は大幅な増床を公約せざるを得なくなりました。2022年9月現在で約2000床を確保しています。PCR等検査についても国と同様に「37.5℃、4日以上」などとしていました。県議団は、県議会で唯一、面的な検査や無料検査を行うよう、繰り返し求めてきました。昨年12月、無料検査が実現。県下600ヶ所で検査できるようになりました。



保健所・県立病院削減に 唯一反対

福岡県は国いいなりで、感染症対策で重要な役割を持つ保健所や県立病院を削減。コロナ禍で医療のひっ迫を招きました。にもかかわらず、病床をさらに減らす計画です。県議会の「オール与党」は、県の提案になんでも賛成です。

この20年で…

保健所	21	→	9	(政令市を含む県内全体では36ヶ所から18ヶ所)
県立病院	5	→	1	(公設民営)
許可病床	約4000	減	→	約3000
				さらに減らす

自・公・民主県政は賛成



いなつき昌子 を県議会に送り

3つの仕事にとりくませてください!

1 ケア労働者の処遇改善・ 保健所の増設

コロナ禍で、県民の暮らしを支えた医療・介護・福祉に従事するケア労働者の重要性が浮き彫りになりました。処遇を改善し、人手不足を解消します。保健所の増設と保健師の増員を求めます。

2 子育て支援を充実 学校給食費を無償に・18歳までの医療費無料化

物価高騰への支援として、福岡県内の自治体で、期間を区切って無償化が始まっています。小中学校や県立学校に通う全児童生徒の学校給食を無償化します。

福岡県が行っている、中学3年生までの医療費助成をさらに広げ、子育て支援の充実をめざします。

3 公共交通の充実・ 高齢者交通費支援を

バス路線の撤退が相次ぎ、生活の足がなくなっています。コミュニティバスへの助成を増やすなど、移動の権利を守ります。福岡市では、高齢者乗車券を交付し、バス・電車・タクシーなどへ年1万2千円補助しています。こうした取り組みを県全体へ広げます。



県民アンケートにご協力ください



QRコードを読み取ってください

●ご意見・ご要望をお寄せください。●日本共産党門司・小倉地区委員会
●電話 093-941-6655 ●〒802-0074 福岡県北九州市小倉北区白銀2丁目1-15

日本共産党



いなつき昌子
県議予定候補(小倉南区)
稲月しほ子

高瀬菜穂子
県議から
バトンタッチ!

いなつき昌子さんへのご支援をお願いします

福岡県議会議員 高瀬菜穂子

私は、38歳で県議会議員として小倉南区から送り出された。以来24年間、バツジのある時もない時も、みなさんに支えていただきました。心からあつくお礼を申し上げます。

定数3の厳しい選挙を勝ち抜き、少人数学級をはじめとする教育の充実や河川整備などの災害対策、新型コロナにおける病床確保や無料PCR検査などを実現・前進させてきました。

このたび、介護のスペシャリストとして最前線で活動してきた、いなつき昌子さんが私の後継として決意していただきました。私に倍するご支援で、いなつき昌子さんを議会に押し上げていただきますよう、心からお願いいたします。

いなつき昌子/1966年北九州市生まれ●中井小・北方小、企教中、小倉東高校、北九州大学第2外国語学部卒●北九州市立中学校で英語教師を5年間勤める●1999年よりヘルパー、介護福祉士、ケアマネジャーの資格取得●20年間高齢者、障がい者福祉の現場で働く●2021年より日本共産党北九州市議団事務局員。小倉南区母原在住。家族は母、1男2女。



いなつき昌子さんの政策を紹介します。●2022年11月号外●発行：福岡民報社
●1964年12月9日第三種郵便物認可●〒810-0822福岡市中央区3-13-12
大場ビル3階



私の原点

すべての子どもがお金の心配なく学べる社会にしたい

小倉南区の小・中・高校で学び、大学は北九州大学の夜間で学校の教師をめざしました。単位の取得とアルバイトの両立には苦労がありましたが、学び続けることができました。

卒業後は中学校英語科の教師に。憲法で「義務教育は無償」とされていますが、実際には様々な保護者負担があります。学校給食のなかった当時、お弁当の持参が難しい生徒と出会いました。ユニフォームを揃えられず部活をやめ、修学旅行にも行かなかつた生徒もいました。

働きながら子育てをしましたが、子どもたちは奨学金を借りての進学となり、苦労をかけることになりました。

「お金の心配なく学べる社会にしたい」。これが私の原点です。

介護の現場で20年

人間らしく年を重ねられる社会に

介護や障がい者福祉の現場で働きました。介護職員をはじめ、訪問看護や、かかりつけ医などとの連携も大事にしながら、利用者の安心につなげることを心がけてきました。利用者ご本人、家族の希望で最期をみとることもあり、やりがいを感じてきました。

しかし、連続する介護保険の制度改悪は、利用者へ重い負担を強いることになりました。要介護認定が下がり、サービスを受けたくても受けられない方や、利用料が払えず、サービスを諦める方もいました。介護職員も低賃金・低処遇に苦しめられています。

地方自治体の役割は住民福祉の増進です。ケア労働者の処遇を改善し、人間らしく年を重ねられる社会にしたいと強く思います。



いなつき昌子さんに期待します



鬼丸 猛
介護施設利用者

障害者に接するしょうこさんの姿勢は、いつでも対等。特別扱いも、指導的な支援もしない。当事者がどうありたいかを重視。話しやすく、なんでも言える人です。



永野 忠幸
いなつき昌子さんの父、杉谷岩弥さんの元同僚。元市職労本部副委員長

いなつき昌子さんのお父さんは「列車に乗りたい」という障がい者の夢をかなえるため奔走し、「ひまわり号」を走らせ、その後、福祉施設を立ち上げました。福祉の心を引き継ぐ昌子さんに期待します。

ずっと住み続けられるまちに

南区の美しい田園風景を守りたい

小倉南区には、かつて美しい棚田や田畑がどこまでも広がっていました。私は子どもたちから、その風景が大好きでした。今は、「後継者がいない」「米価が下がって大変」「肥料代が高騰して続けられない」という悩みをお聞きします。所得保障や価格保障で農業を支え、自給率を高め、近郊農業を守り、美しい田園風景を次の世代にもつなげたいと思います。南区がずっと住み続けられるまちとして発展するよう全力で頑張ります。



私たちも一緒にがんばります



衆議院議員
田村 貴昭



参議院議員
仁比 そうへい



市議会議員
藤沢 かよ

いなつき昌子
稲月しょうこ

